



たづがね (鵲が音)

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい」の西北台っ子

2学期スタート【より高みを目指して！】

9月1日(月)長い44日間の夏休みを過ごし、ひと回りたくましくなった児童が学校へ戻ってきました。この44日間がスタートする前に「自己指導能力を試す夏休みに！」と児童には話をしました。自分で決めて使える時間が増えた休み期間中、どのような目標を立て、その目標を達成するべく時間を使ったのか、ということが一つの指標です。大人でも難しいことかもしれませんが、繰り返し意識してやっていくうちに少しずつ身に付いていくのではないのでしょうか。学校生活では大半が決められた時間の使い方です。これからも休日や放課後の自分で決めて使える時間でTRYし、自己指導能力を高めていけるといいと考えています。

さて、4～5月は【学習・生活のルールづくり】、6～7月は【学習・生活の習慣化】として学校生活を過ごしてきました。9月は引き続き【学習・生活の習慣化】を基底とし、1学期からの積み上げを強固なものにしていくことに注力していきます。

2学期は学習や運動に適した時期であると言われています。科学教室やアスリート事業、イングリッシュキャンプ(5・6年生)など外部機関との連携や、運動会や音楽会などのスポーツ的文化的な行事も計画されています。学童期は、多様な経験をすることが大切です。「本物に」をキーワードに、保護者、地域、関係諸機関と連携・協働しながら、児童の「心の強さ・元気さ」の育成を図っていきたいと考えています。

保護者・地域の皆様、2学期も本校の教育活動へのご理解・ご協力・ご支援をよろしくお願いします。

生活について 9月 学習について

★目標「時を守る」

- ・時計を見て行動し、けじめをつける
- ・5分前行動
- ・ベルで始まり、ベルで終わる など

※羽咋小学校では、ノーチャイム制をとっています。自分で時間を意識して行動する習慣付けを行っています。周りからの声掛けも大切にしています

保健主事：上野慎教諭より

今年度の学習テーマ

【みんなでつなぐ授業づくり ～学びタイムを通して～】

9月：自分の考えに友達の考えをメモしよう

- 4月：授業のじゅんぴをしよう
- 5月：はっきり最後まで言いきろう
- 6月：反応しながら話を聴こう
- 7月：理由をつけて話そう

※これまでの目標も大切にしています。

研究主任：北教諭より

【西北台小学校閉校記念事業実行委員会発足】

令和8年3月31日をもって37年間の歴史を閉じることが決まった西北台小学校。それに伴い、地域の方々が発起して閉校における記念事業を実施すべく実行委員会が立ち上がりました。市主導の統合協議会、記念式典とは別に、地域が主体で行われるものです。

37年前、上甘田地区、一ノ宮地区でもそれぞれに小学校閉校で記念事業を行いました。記念事業として現在決まった内容は、**記念碑の建立**、**記念誌の発行**、**記念事業の実施**です。それぞれの実行委員会の各部会に別れ、どのような内容を、どのような方法で実施できるかを考え始めました。私個人としては、できるだけたくさんの方や卒業生の方に携わっていただきたい思いがあります。(私も地域の一員であり、縁あって地域の学校の校長なので、率先して協力したいと考えています)

閉校記念事業実行委員会のメンバーは、有識者、校下の5町の町会長、公民館長、PTA役員、子ども会会長、校長を含めた学校職員、地域の方々です。今後保護者の皆さんや地域の皆さん、卒業生等に協力依頼等があると思いますが、ぜひお力をお貸ししていただけることをお願いします。